

2026 年 7 月 22 日
西日本旅客鉄道株式会社

山陽新幹線こだま号 新デザインについて

JR 西日本では、N700 系 16 両編成の車両を短編成化改造して 8 両としての運行を実施しており、2025 年 9 月から山陽新幹線こだま号として営業運転を開始しています。

この度、こだま号として運行している N700 系 6000 番代車両において、これまで以上にお客様に愛着を持って頂きたい、また山陽新幹線沿線の地域共生・活性化に貢献したいという思いからエクステリアデザインを変更しますのでお知らせします。

本取り組みは、国立大学法人京都工芸繊維大学 製品デザイン計画研究室と共同研究で車両デザインを検討し、JR 西日本の車両エクステリアデザインとして初めて産学連携で共創し、実現に至った事例となります。

1. 運用開始日

今冬を予定

2. 主な特徴

- ・ N700 系 6000 番代車両のエクステリアデザインを順次新デザインに変更します。
- ・ JR 西日本の車両エクステリアデザインとして産学連携で実現される初めての事例です。

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 4 番、9 番、11 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループ

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



デザインコンセプト

▶ YURARI ～気ままに移ろいを味わう～

- ・山陽新幹線「こだま」ならではの、「各駅停車」や「ゆったりとした旅」に着目
- ・瀬戸内海の波や水面のきらめきをデザインのモチーフに

車体色

▶ 山陽ブルー

- ・瀬戸内海をイメージしたベース色（陽光によってエメラルドグリーンにも見える）
- ・風のない、凪いだ海の穏やかなイメージを反映

【概要】

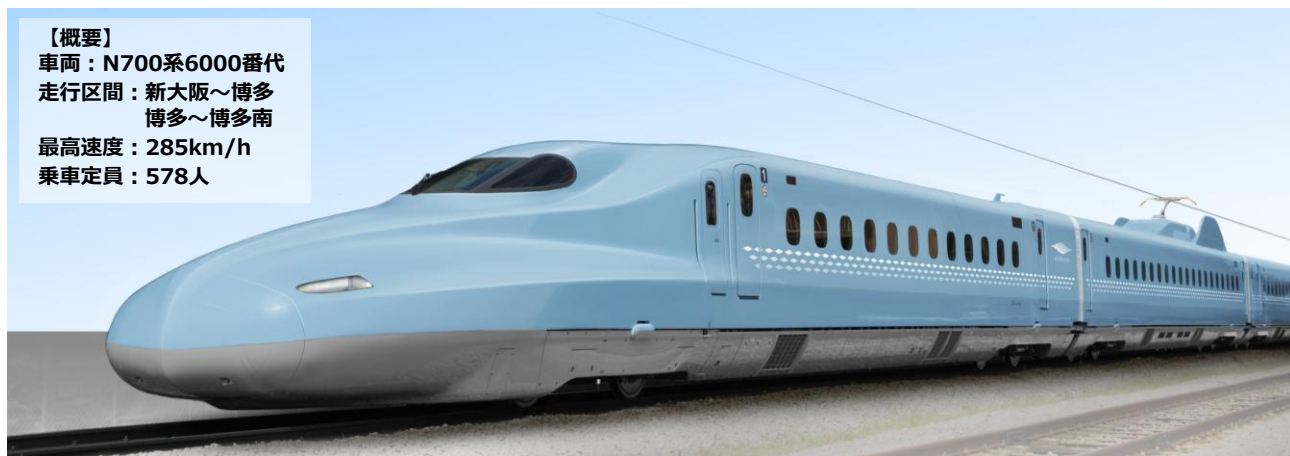
車両：N700系6000番代

走行区間：新大阪～博多

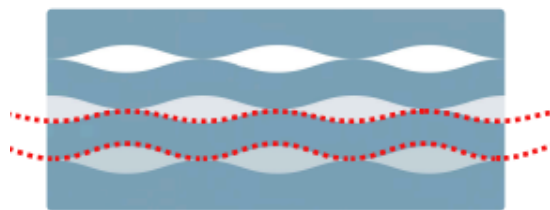
博多～博多南

最高速度：285km/h

乗車定員：578人



車体ライン



起伏のあるドットの形状とラインのグラデーションにより、ゆったりとした景色や時間の「移ろい」を表現しました。ドットパターンの中に形成させる波の形状（赤色点線部）は、ゆったりとした旅の中での偶然の出会いのように、お客様が偶然に発見することを狙っています。走行時はラインが際立ち、停車時は波模様が認識できるよう意図しています。

ロゴマーク



「ゆらり」と「移ろい」をゆったりとした波の表現に落とし込みました。ドットの形状を模した起伏のある形や3本の波の形、色の変化でゆったりとした波、移り変わりを表現し、山陽新幹線沿線の府県モチーフを配置しました。

JR西日本として初めて産学連携で検討した車両エクステリアデザインを採用



京都工芸繊維大学 製品デザイン計画研究室の学生と、基本コンセプト策定から具体化、車体やロゴマークのデザイン検討、デザイン決定に至るまで共同研究を実施。沿線の文化、伝統、自然などを学び、車両所で実際の車両を確認するなど調整を重ねました。